

令和5年度 ESAT-J YEAR 2 採点基準

Part A – 音読

評価	評価基準	
	発音と強勢	読む速さや間の取り方
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の発音が分かりやすく、語や文の強勢が適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができている。 多少の誤りはあっても、聞き手が十分に理解することのできる発音である。 	<ul style="list-style-type: none"> 読む速さが適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができている。 不自然な間があっても、聞き手が十分に理解することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の発音がおおむね分かりやすく、語や文の強勢がおおむね適切で、文章の意味を聞き手に伝えることができている。 発音の誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 読む速さが適切ではないことがある（遅いまたは一定ではない）が、文章の意味を聞き手に伝えることができている。 不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくいことがある。
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の発音が分かりにくいことが多く、語や文の強勢が適切ではないため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 常に、発音に誤りがあり、強勢が適切ではないため、聞き手にとって分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 読む速さが適切ではないため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 常に、不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくい。
 (解答なし)	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の大部分が分かりにくい発音であり、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 または、評価するために十分な量の語や文を読んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 解答全体を通して、読む速さが適切ではなく、不自然な間があるため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 または、評価するために十分な量の語や文を読んでいない。

Part B – 会話

参考 CEFR-J	評価基準
A2.1	<p>○<u>四つ全ての課題（三つの解答と一つの質問）</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。三つの解答のうち、少なくとも一つの解答において、内容を補足する情報を加えて表現している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要に応じて、文を使っている。 ● 文法と語彙を適切に使って、やり取りすることができている。 ● 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.3	<p>○<u>四つの課題のうち、少なくとも三つ</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要に応じて、平易な文を使っている。 ● 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 ● 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	<p>○<u>四つの課題のうち、少なくとも二つ</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要に応じて、平易な文を使おうとしているが、多少の誤りがある。 ● 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがある。
A1.1	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に解答していない</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要に応じて、平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 ● 文法と語彙に基礎的な誤りがあるため、聞き手にとって分かりにくい。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくい。
PreA1	<p>○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた<u>適切な解答をしていない</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 限られた単語や表現で答えている。 ● 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレード なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 求められている解答内容から明らかに外れている。 ● 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 ● 力を測るための十分な量の発話がない。

Part C – イラスト描写

参考 CEFR-J	評価基準
A2.1	<p>○イラストの内容を説明する上で<u>重要な六つのポイント</u>（「誰が何をしているか」を三つ、「何がどこにあるか」が三つ）のうち、<u>少なくとも五つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 文を使っている。 ● 文法と語彙を<u>適切に使って</u>、イラストの内容を描写することができている。 ● 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が<u>十分に理解することができる</u>。
A1.3	<p>○イラストの内容を説明する上で<u>重要な六つのポイントのうち、少なくとも四つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使っている。 ● 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が<u>十分に理解することができる</u>。 ● 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が<u>十分に理解することができる</u>。
A1.2	<p>○イラストの内容を説明する上で<u>重要な六つのポイントのうち、少なくとも三つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使おうとしているが、多少の誤りがある。 ● 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって<u>分かりにくいことがある</u>。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって<u>分かりにくいことがある</u>。
A1.1	<p>○イラストの内容を説明する上で<u>重要な六つのポイントのうち、少なくとも三つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 ● 文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって<u>分かりにくい</u>。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって<u>分かりにくい</u>。
PreA1	<p>○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた<u>適切な解答をしていない</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 限られた単語や表現で答えている。 ● 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレード なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 求められている解答内容から明らかに外れている。 ● 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 ● 力を測るための十分な量の発話がない。

Part D – ナレーション

参考 CEFR-J	評価基準
A2.1	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、イラストの内容を説明する上で重要なポイント(各イラストに二つ、合計六つ)に触れながら、三つのイラスト全てについて、時間を追って順序立てて説明している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 文を使っている。 ● 出来事の流れを順序立てて説明するための表現(接続詞、代名詞など)を使っている。 ● 文法と語彙を適切に使って、出来事を説明することができる。 ● 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.3	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、三つのイラスト全てを一連の出来事として説明しているが、そのうち、一つのイラストの説明が不十分である。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使っている。 ● 出来事の流れを順序立てて説明するための表現(接続詞、代名詞など)を使おうとしているが、多少の誤りがある。 ● 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 ● 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、三つのイラストのうち、少なくとも二つのイラストの出来事を説明している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使っている。 ● 出来事は順番に説明されているが、出来事の流れを順序立てて説明するための適切な表現を使っていない。 ● 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがある。
A1.1	<p>○イラストの出来事に触れているが、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた適切な説明をしていない。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 ● 文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって分かりにくい。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくい。
PreA1	<p>○まとまりのない語句を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、出来事を適切に説明していない。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 限られた単語や表現で答えている。 ● 文法や語彙の誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレードなし	<ul style="list-style-type: none"> ● 求められている解答内容から明らかに外れている。 ● 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 ● 力を測るための十分な量の発話がない。

ESAT-J

中学校英語スピーキングテスト

English Speaking Achievement Test for Junior High School Students

令和5年度 中学校英語スピーキングテスト
ESAT-J YEAR 2 採点結果報告書

YEAR 2

概要

中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 1 及び YEAR 2）は、令和6年1月から3月にかけて実施され、採点・評価が行われました。本書には、ESAT-J YEAR 2（以下、YEAR 2）の採点基準と問題内容の紹介とともに、実際の解答例や評価とその理由、そして指導者の皆さまへのアドバイスが記載されています。

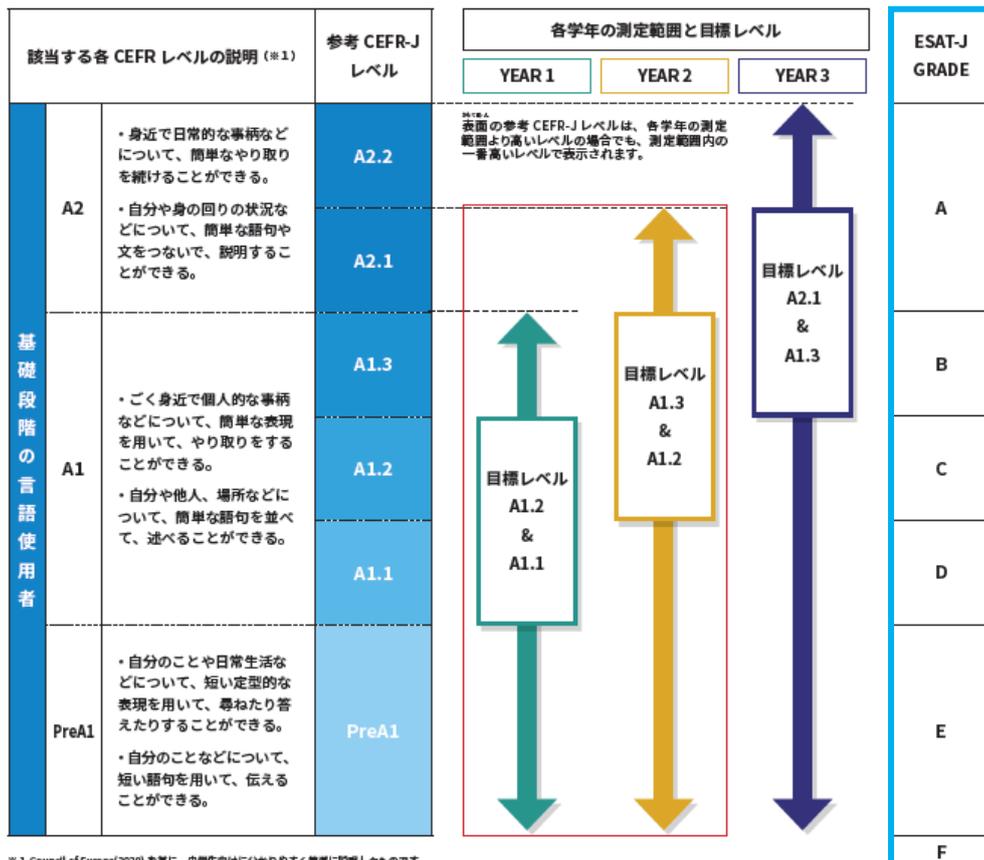
ESAT-J と CEFR / CEFR-J との関連

次のページの表は、ESAT-J の3つのテスト（YEAR 1, YEAR 2, YEAR 3）が CEFR / CEFR-J の到達度スケールでどのレベルに相当するかを示しています。

この報告書は ESAT-J YEAR 2 のテストに関するもので、説明の中で PreA1, A1.1, A1.2, A1.3 そして A.2.1 というレベル表示がしばしば出てきます。それらがどのようなレベルを表しているのか確認する際の参考にしてください。

(参考) CEFR 及び CEFR-J について

ESAT-J YEAR 1、YEAR 2 及び YEAR 3 は、CEFR レベル及び CEFR-J レベルを参考にして、段階的に学年ごとの**目標レベル**を設定しています。ESAT-J YEAR 3 は、**ESAT-J GRADE** で評価されます。



CEFR とは

CEFR(Common European Framework of Reference for Languages : 欧州言語共通参照枠 ; 2001, 2020) は、欧州評議会 (Council of Europe) によって発表された、外国語能力の参照基準です。



参考: Council of Europe の CEFR に関するウェブサイト【英語】

CEFR-J とは

CEFR-J は、CEFR を基に、日本の英語教育での利用を目的に作られた、英語能力の到達度指標で、「英語を使って何ができるか」を示しています。



参考: CEFR-J のウェブサイト

実際に受験生が解答した例とその評価の理由

ここでは、各パートの評価の観点とその主なポイント、実際の解答例、それに対する評価とその理由について解説します。よい解答例だけでなく、各レベルの実際の解答を示しながら説明を付け加えています。また、英語科の先生方が生徒の皆さまを支援し、「話すこと」の力をより高めるための指導を行う際のヒントとなる情報についても記載しています。

※なお、「実際に受験生が解答した例（受験生の音読例、受験生の解答例）」は、採点者が実際の受験生の音声を聞こえたまま文字に書き起こしたもので、実際の英語のつづりと異なるものや、意味をなさない表記もあります。

※こちらの二次元コードから、解答例の音声（声優による模倣）を視聴できる採点結果解説動画にアクセスできます。



Part A

< 問題指示文 >

Part A は、音読の問題で、2 問あります。聞いている人に、意味や内容が伝わるように、英文を声に出して読んでください。

Hi, everyone! I go to dance class with my friends. There are twenty people in the class. We practice three days every week. We will dance at the school festival. Please come and watch us.

This is Kate. She came to Japan to visit our school. She loves running. This weekend, we are going to go running in the mountains. We hope it will be sunny.

1 評価の観点とその主なポイント

音声

- 個々の語の発音が分かりやすく、語や文の強勢が適切で、文章の意味を聞き手に伝えることができる。
- 聞き手が理解することのできる発音である。
- 読む速さが適切で、文章の意味を聞き手に伝えることができている。
- 不自然な間があっても、聞き手が理解することができる。

2 受験者の音読から見える傾向

- ・評価の高い音読は、個々の語の発音や強勢が分かりやすく、読む速さや間の取り方が適切で、文章の意味を聞き手に十分伝えていました。
- ・評価の低い音読は、個々の語の発音や強勢が分かりにくかったり、不自然な間があったりして、文章の意味が聞き手に伝わりにくいものでした。

採点基準 Part A 音読

評価	採点基準	
	発音と強勢	読む速さや間の取り方
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の発音が分かりやすく、語や文の強勢が適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができる。 多少の誤りはあっても、聞き手が十分に理解することのできる発音である。 	<ul style="list-style-type: none"> 読む速さが適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができる。 不自然な間があっても、聞き手が十分に理解することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の発音がおおむね分かりやすく、語や文の強勢がおおむね適切で、文章の意味を聞き手に伝えることができる。 発音の誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 読む速さが適切ではないことがある（遅い、または一定ではない）が、文章の意味を聞き手に伝えることができる。 不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくいことがある。
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の発音が分かりにくいことが多く、語や文の強勢が適切ではないため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 常に、発音に誤りがあり、強勢が適切ではないため、聞き手にとって分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 読む速さが適切ではないため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 常に、不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくい。
 (解答なし)	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の大部分が分かりにくい発音であり、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 または、評価するために十分な量の語や文を読んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 解答全体を通して、読む速さが適切ではなく、不自然な間があるため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 または、評価するために十分な量の語や文を読んでいない。

3 受験者の解答例の評価とその理由

受験者の音読例	評価	評価の理由
<p>“Hi... hi everyone. I go to dance class with my friends. There are 20 people in the class. We practice three days every week. We will dance at the school festival. Please come and watch us.</p> <p>This is Kate. She <i>come</i> to Japan to visit our school. She loves running. This weekend we are going to go running in the mountains. We hope it will be sunny.”</p>	<p>発音と強勢： ★★★★</p> <p>読む速さや間の取り方： ★★★★</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の語の発音が分かりやすく、また、語句や文の強勢が適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができています。 ・読む速さが適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができています。 ・不自然な間があっても、聞き手が十分に理解することができます。
<p>“Hi everyone. Hi everyone. I go to dance class with my friends. They are <i>twelve people</i> in the class. We practice their day every work. We will dance at the school ** ** <i>and with use.</i></p> <p><i>This.. this is Kate. She come to Japan to visit one .. or school. She loves running. This walking we are go to go running in the mountains. We have it will be sun.</i></p>	<p>発音と強勢： ★★</p> <p>読む速さや間の取り方： ★★</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の語の発音が分かりやすく、語や文の強勢がおおむね適切で、文章の意味を聞き手に伝えることができています。 ・発音の誤りがあるため、聞き手にとって分かりにくいことがあります。 ・読む速さが遅く、不均等ですが、文章の意味を聞き手に伝えています。 ・不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくいことがあります。
<p>Hi everyone. <i>I want to go to ... with my friends ... The are, the people in the class... they are *** picture ... en *** ...</i></p> <p><i>This ... this is, Kay... She is come to Japan because under school. She is live *** ... This weekend we are go to .. oh, running ... in the live in the ...</i></p>	<p>発音と強勢： ★</p> <p>読む速さや間の取り方： ★</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の語の発音の誤りや強勢が不適切で、聞き手にとって分かりにくいところが多く、文章の意味が聞き手に伝わりません。 ・読む速さが適切ではなく、不自然な間が多く、聞き手にとって分かりにくくなっています。両方の文章の意味が聞き手に伝わりません。
<p>(4 秒の^ま間の後) <i>Hi, every- ... I go to ...</i> (6 秒の^ま間) (日本語の回答).</p> <p>(2 秒の^ま間の後) <i>This is Ken-to ...</i></p>	<p>発音と強勢： ★ (解答なし)</p> <p>読む速さや間の取り方： ★ (解答なし)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大部分の語が発音されていません。 ・採点者が評価をするために十分な量の語や文が音読されていません。

<注> 「音読」は CEFR / CEFR-J の Can-do (能力記述文) において該当するものがないため、4 段階 (★:0~3) で評価しています。

<書き起こしの文中の記号について>

- *: 受験者の解答が単語として判別できなかったもの。
- …: 受験者の発話が止まって、間が空いていることを示すもの。

4 採点者のコメント

- ・発音が分かりやすく、強勢が適切で、また、読む速さや間の取り方が適切な音読を高く評価しました。

5 指導者の皆さまへ（ブリティッシュ・カウンシル 採点チームより）

- ・問題の指示文にあるように、「聞いている人に、意味や内容が伝わるように」するためには、文章を読む速さが速過ぎでもゆっくりし過ぎでも適切ではありません。
- ・複数の音節からできている語においては、どの部分を強く発音するのかに注意させましょう。
(例： **fes** ・ ti ・ val)
- ・単語の語尾に子音が連続する場合（例： friends）は、意識して発音するように支援してください。

Part B

<問題指示文>

Part B は、会話の問題で、4 問あります。あなたは、日本に来たばかりの留学生のジャンと話しています。はじめに、ジャンがあなたに三つの質問をします。

No.1 What do you like to do on weekends ?

No.2 Where do you like to eat, at home or at a restaurant?

No.3 Why do you think so?

今度は、あなたがジャンに対して、次の画面で表示される内容について質問する番です。

No.4 ジャンに対して、次のことを英語で質問してください。

「食べてみたい日本食」

1 評価の観点とその主なポイント

コミュニケーションの達成度

- 四つの課題において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。

言語使用

- 必要に応じて平易な文を使っている。
- 文法と語彙が適切で、聞き手が理解することができる。

音声

- 発音・話す速さ・間の取り方が適切で、聞き手が理解することができる。

2 受験者の解答から見える傾向

- A2.1 レベルの解答は、質問に関連した補足情報（質問に関連して受験生自身の興味・関心のあること）を付け加えていました。
- A2.1 または A1.3 レベルの解答は、全ての質問に適切に解答し、No.4 の課題（質問文の作成）では適切な質問文を作成していました。
- A1.1 または PreA1 レベルの解答は、全ての質問には答えることができませんでした。また、No.4 の問題では、多くの受験者が適切な質問文を作成することができていませんでした。

採点基準 Part B 会話

参考 CEFR-J	採点基準
A2.1	<p>○<u>四つ全ての課題（三つの解答と一つの質問）</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。三つの解答のうち、少なくとも一つの解答において、内容を補足する情報を加えて表現している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 必要に応じて、文を使っている。 • 文法と語彙を適切に使って、やり取りすることができている。 • 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.3	<p>○<u>四つの課題のうち、少なくとも三つ</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 必要に応じて、平易な文を使っている。 • 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 • 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	<p>○<u>四つの課題のうち、少なくとも二つ</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 必要に応じて、平易な文を使おうとしているが、多少の誤りがある。 • 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 • 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがある。
A1.1	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に解答していない</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 必要に応じて、平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 • 文法と語彙に基礎的な誤りがあるため、聞き手にとって分かりにくい。 • 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくい。
PreA1	<p>○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた適切な解答をしていない。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 限られた単語や表現で答えている。 • 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 • 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレード なし	<ul style="list-style-type: none"> • 求められている解答内容から明らかに外れている。 • 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 • 力を測るための十分な量の発話がない。

3 受験者の解答例の評価とその理由

受験生の解答例	参考 CEFR-J レベル	評価の理由
No.1: I like to play basketball. No.2: I like to eat at home. No.3: Because staying at home is fun and I like mother's dishes. No.4: What kinds of Japanese food do you want to eat?"	A2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・四つ全ての課題において、適切な解答をしています。少なくとも一つの質問に対する解答で、補足情報を加えています（"and I like mother's dishes"）。 ・平易な文を使っています。 ・文法と語彙が適切です。 ・発音、話す速さ、間の取り方が適切で、聞き手が十分に理解することができます。
No.1: I [rike] to play baseball on weekend. No.2: I [rike] eat at home. No.3: I [sink], mother's dishes is delicious. No.4: What what's Japanese food do you want to eat-ss?"	A1.3	<ul style="list-style-type: none"> ・四つの課題のうち、少なくとも三つにおいて、適切な解答をしています。 ・質問に対して平易な文を使っています。 ・文法と語彙に多少の基礎的な誤りがありますが、聞き手が十分に理解することができます。 ・話す速さや間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができます。 ・補足情報が加えられると、より良い評価になります。
No.1: I ... I like ... play game. No.2: I like to eat at home. No.3: I [sink] so No.4: What time, what time eat .. er.. Japanese food?"	A1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・四つの課題のうち、少なくとも二つにおいて、適切な解答をしています。 ・平易な文を使おうとしています。 ・文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがあります。 ・発音、話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがあります。
No.1: I like... I like .. I play .. I like play ... video games on weekends. No.2: I like food, french fry. No.3: I like french fry (ooh) (ooh) because (4 秒の間) (ah mm) No.4: What? Wha- What do you ... what do you Japanese food ..(ah) What do you, what do you eat Japanese food?"	A1.1	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に適切に解答していません。 ・No.2 の解答は、質問（'Where do you like to eat, at home or in a restaurant?'に対する適切な解答ではありません。 ・No.3 でも、適切な解答が見られません。 ・No.4 では、語順の誤りがあります。 ・平易な文で答えようとしています。誤りが多く、聞き手にとって分かりにくくなっています。 ・発音、話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくくなっています。

受験者の解答例	参考 CEFR-J レベル	評価の理由
No.1: ... I like ... (20 秒の間) I like	PreA1	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのない語句を並べる程度で、課題に適切な解答をしていません。 ・解答が語句に限られています。 ・文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わりません。 ・発音、話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わりません。 ・課題に適切に解答していませんが、英語で表現しようとしていることで評価が与えられています。

4 採点者のコメント

- ・ A2.1 レベルの解答は、質問に関連した個人的な情報やその理由などの補足情報が見られました。
- ・ コミュニケーションにおいて、間違いを恐れずに伝えようとする姿勢も考慮して評価しました。
- ・ A1.1 及び PreA1 レベルの解答は、質問をすることがうまくできず、一語の解答など、最小限の解答に限られていました。
- ・ "mother's dishes" という解答が多くありましたが、和製英語の表現です。英語の表現としては、"my mother's cooking" (母の手料理) または "home cooking" (家庭料理) です。
※mother だけでなく father が料理することもありますので、"home cooking" が適切な表現と言えます。

5 指導者の皆さまへ (ブリティッシュ・カウンシル 採点チームより)

- ・ 質問文を練習するとき、「メモや原稿に頼らずに質問する」練習を増やすとよいでしょう。「尋ねたいこと (日本語) を踏まえて、表現 (英語に) すること」(Part B の第 4 問) は、日常のコミュニケーションでも、表現する機会が多いと考えられます。その際に、疑問文の語順に十分注意させてください。
- ・ コミュニケーションを深めていくため、質問に対する答えに留まらず、それに関連した情報も加えて表現するように促してください。A2.1 レベルの解答は、質問に対する最小限の答えだけでなく、質問に関連した補足情報を加えて表現しています。
- ・ 全ての課題に答えるように促してください。コミュニケーションにおいて、質問に対して沈黙してしまわずに、なんとか答えようとする姿勢が大切です。

Part C

<問題指示文>

Part C は、1枚のイラストについて説明する問題で、1問あります。どこに、何が見えますか。また、誰が何をしていますか。それぞれ、できるだけ多く解答してください。



1 評価の観点とその主なポイント

コミュニケーションの達成度

- イラストの内容を描写する上で重要な六つのポイント（「どこに」「何が」見えるか、又、「だれが」「何をしているか」）について、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切に描写している。

言語使用

- 必要に応じて平易な文を使っている。（主語＋動詞＋場所を表す前置詞句、主語＋動詞 [be 動詞＋-ing]）
- 文法と語彙が適切で、聞き手が理解することができる。

音声

- 発音・話す速さ・間の取り方が適切で、聞き手が理解することができる。

2 受験者の解答から見える傾向

- A2.1 または A1.3 レベルの解答は、平易な文を使って、イラストを十分に説明していました。
- PreA1 レベルの解答は、物の位置（〇〇がどこにある）、人の行動（□□が何をしている）に関する情報がなく、単に部屋の中にあるものを表す語を並べて表現する程度に留まっていました。
- 前置詞はおおむね適切に使われていました。
- 典型的な誤りとして次のようなものもありました。
 - ✓ 「物の位置」の表し方（主語＋動詞＋場所を表す前置詞句など）や、「人の行動」の表し方（主語＋be 動詞＋動詞の ing 形）が適切に使えていない解答が多く見られました。（例：Two guitars are on the table. の前置詞や、Two boys are singing. の現在進行形の表現が適切ではない。）
 - ✓ 動詞（例：is / are）が抜けていたため、低い評価となった解答がありました。

採点基準 Part C イラスト描写

参考 CEFR-J	採点基準
A2.1	<p>○イラストの内容を説明する上で<u>重要な六つのポイント</u>（「<u>誰が何をしているか</u>」を三つ、「<u>何がどこにあるか</u>」が三つ）のうち、<u>少なくとも五つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文を使っている。 文法と語彙を<u>適切に使って</u>、イラストの内容を描写することができる。 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.3	<p>○イラストの内容を説明する上で<u>重要な六つのポイントのうち、少なくとも四つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平易な文を使っている。 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	<p>○イラストの内容を説明する上で<u>重要な六つのポイントのうち、少なくとも三つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平易な文を使おうとしているが、多少の誤りがある。 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分りにくいことがある。 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分りにくいことがある。
A1.1	<p>○イラストの内容を説明する上で<u>重要な六つのポイントのうち、少なくとも三つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって分りにくい。 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分りにくい。
PreA1	<p>○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた<u>適切な解答をしていない</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 限られた単語や表現で答えている。 文法と語彙に誤りがあるため、<u>解答の内容が伝わらない</u>。 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に<u>内容が伝わらない</u>。
グレード なし	<ul style="list-style-type: none"> 求められている解答内容から明らかに外れている。 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 力を測るための十分な量の発話がない。

3 受験者の解答例の評価とその理由

受験者の解答例	参考 CEFR-J レベル	評価の理由
<p>“There are two guitars on the table. The boys are singing. The girl is playing the piano. The girl is listening to ... listening to music. (er) {2 second pause} The radio is on ... on the table. Ah The girl is in front of blackboard. (eh) There four pictures on the wall. There four for four pictures on the wall.”</p>	A2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストの内容を説明する上で重要な六つのポイント（「誰が何をしているか」、「何がどこにあるか」）のうち、少なくとも五つを適切に描写しています。 ・平易な文を使って描写しています。 ・文法と語彙を適切に使っています。 ・発音、話す速さや間の取り方が適切で、聞き手が十分に理解することができます。
<p>“She is listening to music. She is playing the piano. (6 seconds) Two boys, two boys <i>singing</i> a song. There are two guitars on the, on the table.”</p>	A1.3	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストの内容を説明する上で重要な六つのポイント（「誰が何をしているか」、「何がどこにあるか」）のうち、少なくとも四つを適切に描写しています。 ※She is ...ing の繰り返し（人物が異なるのに同じ形）がありますが、四つのポイントを適切に描写しています。 ・平易な文を使って描写しています。 ・文法と語彙に基礎的な誤りがありますが、聞き手が十分に理解することができます。（1か所で be 動詞が抜けています） ・発音、話す速さや間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができます。
<p>“The girl s-student is playing piano. Th- The boy student is (er) <i>sing</i> a song. The guitar <i>an-dah</i> is under <i>desk</i>. The <i>student girl</i> is <i>listen</i> to music.”</p>	A1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストの内容を説明する上で重要な六つのポイント（「誰が何をしているか」、「何がどこにあるか」）のうち、少なくとも四つを適切に描写しています。 ・平易な文を使って描写しています。 ・文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがあります。 ・発音、話す速さや間の取り方は聞き手が分かりにくいことがあります。

受験者の解答例	参考 CEFR-J レベル	評価の理由
<p><i>“The guitar on the table, on the ah. The.. large.. stereoz on the .. table ... (uh) {6 second} the drum ... by the wall ... the .. pictures by the wall {7 second} the girl .. by the piano.”</i></p>	<p>A1.1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストの内容を説明する上で重要な六つのポイント（「誰が何をしているか」、「何がどこにあるか」）のうち、三つ以下に留まっています。（四つのポイントに触れていますが、動詞が抜けています。） ・平易な文を使おうとしていますが、誤りが多くあります。（動詞の欠落） ・文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって分かりにくくなっています。 ・話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくくなっています。
<p><i>“The ... lz ... He’s ... song. She’s piano. She’s ... ((Japanese)) {19 second pause} Three chair.</i></p>	<p>PreA1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのない語句を並べる程度で、課題に適切な解答をしていません。 ・語句に限られた描写になっています。 ・文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わりません。 ・発音、話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わりません。

4 採点者のコメント

- ・ A1.3 及び A2.1 レベルの解答は、イラストに描かれた状況のほとんど、または全てについて適切な文構造（主語＋動詞＋場所を表す前置詞句、または、主語＋be 動詞＋動詞の ing 形＋…）を使って描写していました。
- ・ A1.1 または PreA1 レベルの解答は、イラストに描かれた状況の描写が少なく、文法的な誤り（動詞の脱落や語順の誤りなど）が多く見られました。

5 指導者の皆さまへ（ブリティッシュ・カウンシル 採点チームより）

- ・イラストに描かれた状況の全てについて、文を使って描写するように促してください。
- ・イラストにある状況で、「誰が何をしていますか」、「どこに何が見えますか」を描写するために必要な文構造、「主語＋be 動詞＋動詞の ing 形＋…」や、「主語＋動詞＋場所を表す前置詞句」を適切に使えるようにサポートしてください。
(例：The girl is listening to music . Two guitars are on the table.)
- ・受験者に、適切な動詞の形を使って文で答えるよう促してください。(例：Two boys are singing. The girl is playing the piano.)
- ・異なる文の始め方を学ぶことで、表現の幅を広げることができます。
(例：I can see … / There is/are … / The 名詞 is/are +前置詞…など)

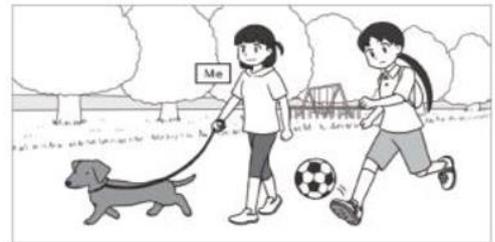
Part D

<問題指示文>

Part D は、3枚のイラストについて説明する問題で、1問あります。あなたは授業で、バリー先生に先週の出来事を英語で説明しようとしています。次の3枚のイラストがあなたの先週の出来事であるとして、次の画面で表示される表現を最初に使って解答してください。

この表現を最初に使って解答を始めてください。

”Last week ...”



1 評価の観点とその主なポイント

コミュニケーションの達成度

- コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、三つのイラストを一連の出来事として説明している。

言語使用

- 必要に応じて平易な文を使っている。
- 一連の行動の流れを順序立てて説明するための表現（接続詞など）を使おうとしている。
- 文法と語彙が適切で、聞き手が理解することができる。

音声

- 発音・話す速さ・間の取り方が適切で、聞き手が理解することができる。

2 受験者の解答から見える傾向

- A2.1 レベルの解答は、適切な文法（過去形の使用など）や語彙を用いて三つのイラストを説明し、さらに出来事の流れを順序立てて説明するための表現（例：next, then, so）を使っていました。
- A1.2 レベルの解答は、多少の誤りはあるものの、適切な文法や語彙を用いて説明していました。
- A1.1 レベルの解答は、語句を用いて説明しようとしているものの、語順の誤りなどがあり、三つのイラストの出来事を説明することができませんでした。
- PreA1 レベルの解答は、まとまりのない語句を並べる程度でした。
- 典型的な誤りとして、動詞の使い方が適切ではない解答が多くありました。

採点基準 Part D ナレーション

参考 CEFR-J	採点基準
A2.1	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、イラストの内容を説明する上で<u>重要なポイント(各イラストに二つ、合計六つ)</u>に触れながら、<u>三つのイラスト全てについて</u>、時間を追って順序立てて説明している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文を使っている。 出来事の流れを順序立てて説明するための表現（接続詞、代名詞など）を使っている。 文法と語彙を適切に使って、出来事を説明することができている。 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.3	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、<u>三つのイラスト全てを一連の出来事</u>として説明しているが、<u>そのうち、一つのイラストの説明が不十分</u>である。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平易な文を使っている。 出来事の流れを順序立てて説明するための表現（接続詞、代名詞など）を使おうとしているが、<u>多少の誤りがある</u>。 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、三つのイラストのうち、<u>少なくとも二つのイラストの出来事</u>を説明している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平易な文を使っている。 出来事は順番に説明されているが、<u>出来事の流れを順序立てて説明するための適切な表現を使っていない</u>。 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって<u>分かりにくいことがある</u>。 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって<u>分かりにくいことがある</u>。
A1.1	<p>○イラストの出来事に触れているが、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた<u>適切な説明をしていない</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平易な文を使おうとしているが、<u>誤りが多い</u>。 文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって<u>分かりにくい</u>。 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって<u>分かりにくい</u>。
PreA1	<p>○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、<u>出来事を適切に説明していない</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 限られた<u>単語や表現</u>で答えている。 文法や語彙の誤りがあるため、<u>解答の内容が伝わらない</u>。 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に<u>内容が伝わらない</u>。
グレード なし	<ul style="list-style-type: none"> 求められている解答内容から明らかに外れている。 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 力を測るための十分な量の発話がない。

3 受験者の解答例の評価とその理由

受験者の解答例	参考 CEFR-J レベル	評価の理由
<p>“Last week I went to park with my dog. I met my friend at the... at there. I walked with my [fried] ... (ah) I walked with my dog, she played soccer. After that I [drunk], she ate sandwiches.”</p>	<p>A2.1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三つのイラスト全てを一連の出来事として説明しています。 ・動詞の過去形を使った文で説明しています。 ・出来事の流れを示すための表現 (“there”, “after that”等)を使っています。 ・出来事を説明するために、文法と語彙が適切に使われています。 ・発音、話す速さや間の取り方が適切で、聞き手が十分に理解することができます。
<p>“Last week, I went to the park wiz my friend .. I walk-ed with <i>dog</i>, with my dog. My friends played soccer. So, I was tire. I, I <i>drin</i>, I drink some water. My friends .. <i>eats</i> sandwich.”</p>	<p>A1.3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三つのイラスト全てを一連の出来事として説明していますが、重要なポイントのうち一つが不十分です。(※一枚目のイラストに犬を連れて行ったことが含まれていない。) ・動詞の過去形を使った平易な文で説明しています。 ・出来事の流れを示すための表現 (“so”)を使っています。 ・文法と語彙に多少の基礎的な誤りがありますが、聞き手が十分に理解することができます。 ・発音、話す速さや間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができます。
<p>“Last week, I went ... I went to <i>park</i> (eh) with <i>dog</i>, with my dog. I <i>meet</i>, ah, I met ... I met my friend (eh) I <i>walk</i>, I walked ... I walked the park ... together. (eh) I <i>sit</i> bench, (eh) I drink, I <i>drinked</i> pet bottle (eh)?”</p>	<p>A1.2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三つのイラストのうち、少なくとも二つのイラストの出来事を説明しています。 ・動詞の過去形を使った平易な文で説明しています。 ・出来事は順番に説明されていますが、その流れを順序立てて説明するための表現が使われていません。 ・文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがあります。 ・発音、話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがあります。

受験者の解答例	参考 CEFR-J レベル	評価の理由
<p>“Last week ... is my dog ... is the .. park ... Go to the park. ... (ey) soc-cer play, play soccers.”</p>	A1.1	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストの出来事に触れていますが、適切に説明していません。 ・平易な文を使おうとしていますが、誤りが多く、聞き手にとって分かりにくくなっています。（主語＋動詞＋目的語の形が不適切、動詞の脱落） ・文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって分かりにくくなっています。 ・発音、話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくくなっています。
<p>“Last week, uh ... frie ... uh, frie.. dog with...(eh) friends... Last week .. en .. an ..a.. na ...un?.. the .. the ... (huh?) play ... the”</p>	PreA1	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのない語句を並べる程度で、出来事を適切に説明していません。 ・語句の使用に限られています。 ・文法や語彙の誤りがあるため、内容が伝わりません。 ・発音、話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わりません。

4 採点者のコメント

- ・A2.1 レベルの解答は、三つのイラスト全てを上から順番に、出来事の流れを順序立てて説明するための表現を使って説明していました。A1.3 レベルの解答は、部分的に使おうとしていました。
- ・接続表現（so, after that など）を使わずに説明している場合は A1.2 レベルの評価としました。
- ・A1.1 または PreA1 レベルの解答は、三つのイラスト全てを説明することができず、文法や語彙を適切に使えていない解答が多くみられました。

5 指導者の皆さまへ（ブリティッシュ・カウンシル 採点チームより）

- ・動詞の過去形を使ったりテリング（retelling）活動を取り入れてみましょう。受験者がイラストの展開を説明する自信につながります。
- ・過去時制（過去形と過去進行形）は物語でよく使われる時制で、ストーリーを伝えるときに必要です。
- ・受験者が出来事の流れを順序立てて説明するための表現（例：‘first’, ‘then’, ‘next’, ‘after that’, ‘because’, ‘and’や代名詞など）を使って、聞き手に分かりやすく表現できるようにしましょう。

ESAT-J

中学校英語スピーキングテスト

English Speaking Achievement Test for Junior High School Students

